

# 李鳳宇さんと語らう 【強い映画】



講師 映画プロデューサー 李鳳宇 Lee Bong-Woo

お勧めしたい方

- 映画を通して自分自身と向き合い、自己理解を深めたい方
- 単なる映画鑑賞ではなく、社会が抱える問題について認識を深めたい方
- グローバルな観点で各国の文化・歴史に触れたい方

4/24<sup>±</sup>

第1回

13:00～18:00

## イントロダクション

李鳳宇さんが、自らの映画人生～映画との出会い、「強い映画」への思い～を、プロデュースや配給作品の映像をまじえて紹介します。また、現在の映画を取り巻く状況について解説し、環境への理解を深めます。後半は次回課題映画の『アクトレス』（仮題）を鑑賞します。

5/8<sup>±</sup>

第2回

11:00～15:00

## いまを生きる

課題映画:『アクトレス』（仮題・2009年韓国）  
2010年韓国映画 新春最新作品

韓国人気女優6人（イ・ミスク、キム・ミニ、コ・ヒョンジョン、チェ・ジウ、キム・オクビン、ユン・ヨジョン）の競演による華やかで迫力ある話題作品。世代の異なる6人の女優が実名で繰り広げる演技ともドキュメンタリーとも区別のつかない物語とハプニング。複雑で混沌とした現代をしなやかにそしてたくましく生きる彼女たちの姿から、“いま”を生きることを考えます。

5/29<sup>±</sup>

第3回

11:00～15:00

## 文化を越える愛と絆

課題映画:『静かなる男』（1952年アメリカ）  
1952年アカデミー賞2部門受賞（監督賞、撮影賞）

悲痛な過去を背負うアイルランド系アメリカ人の男が、平和な生活を望み故郷アイルランドに戻り、一目惚れした女性と結婚するために障害を乗り越えようとする姿を描いた歴史的な作品。

2つの国の異なる価値観に奮闘する主人公の姿から、文化を越えた愛と絆、そして移民の歴史からアメリカ映画産業の隆盛まで、多角的に作品を鑑賞します。

6/19<sup>±</sup>

第4回

11:00～15:00

## 創造すること

課題映画:『This is it』（2009年アメリカ）

マイケル・ジャクソンの突然の死によって、予期せぬ形で世に出た傑作。ツアー公演のリハーサル風景を記録したドキュメンタリーであると同時に、卓越した歌声とパフォーマンスを堪能できるミュージカル作品としての味わいも兼ね備えています。アーティストが作品を創りあげるまでのクリエイティビティの本質に迫り、死という現実から生まれた1本の映画作品としての価値を探ります。

7/3<sup>±</sup>

第5回

11:00～15:00

## 日本映画と女優

課題映画:『西鶴一代女』（1952年日本）  
ヴェネツィア国際映画祭国際賞受賞作品

井原西鶴の『好色一代女』を原作に、封建制度下で自我を貫こうとした女性の悲劇的流転人生を巨匠・溝口健二監督が描いた古典文芸作品。究極まで描き出されたリアリティと丁寧な演出力から、日本映画の真髄に触れ、スクリーンを彩った名女優・田中絹代の演技を味わいます。

7/17<sup>±</sup>

第6回

11:00～15:00

## 夢をあきらめない

課題映画:『ミルコのひかり』（2005年イタリア）

映画をこよなく愛する少年は、不慮の事故により両目の視力を失ってしまう。イタリア映画界の第一線で活躍する、盲目のサウンドデザイナーの幼少時代を描く感動のストーリー。光を失った子ども達と一緒に、音に対するイマジネーションを感じることで、“見る”以上の感動を覚えます。主人公があきらめなかった映画への想いを通して、映画の魅力とは何かを改めて問います。

一本の映画が、新しい扉を開いてくれる。  
 一本の映画が、気づかずにいたあなたの力を引き出してくれる。  
 「強い映画」とは、人の心を震え動かす力を内包している。

李鳳宇さんは、時代を越えて生き続け、人に強い影響力を持ち続ける映画を、「強い映画」と呼びます。本講座では、李鳳宇さんが推奨する「強い映画」を鑑賞し、その社会背景や制作の裏側を知り、メッセージの本質に迫りながら、一本の映画を多面的に味わいます。

「強い映画」は、単一のメッセージを伝えるものではありません。現実がそうであるように、一筋縄ではいかない重層的な問題を、複合的な視点で捉えています。

李鳳宇さんとともに「強い映画」を語り味わうことで、自分自身を見つめなおし、気づかずにいたあなたの想いや、大切にしていた何かに出会えることでしょう。

李鳳宇

## 「映画ノート」の製作を通して自分を見つめる

かつて李鳳宇さんは、フランス留学中に500本以上の作品を「映画ノート」に書き留め、感想や創作のアイデアをつづりました。この「映画ノート」にならい、一人ひとりがオリジナルのノートを作成し、映画を観た後に湧く、喜・怒・哀・楽・愛・勇気といったさまざまな想いや感想をつづります。「映画ノート」は批評や優劣をつけるものではありません。自分を見つめ直し、参加者同士で感動や気づきを共有することで、気づけなかった価値観に出会うことができます。

### ■講座の進め方

◇前半:「映画を語る」(90分)

映画ノートの発表 ▶ ディスカッション ▶ 李さんによる映画ノート解説

◇後半:「映画紹介」(90分)

テーマに沿った映画の紹介 ▶ 質疑応答 ▶ 次回課題映画の提示・鑑賞(希望者のみ)

## 開催概要

日程	2010年 4/24、5/8、5/29、6/19、7/3、7/17 (すべて土曜日)
回数	6回
時間	第1回 13:00-18:00 (4時間・休憩1時間) 第2回以降 11:00-15:00 (3時間・休憩1時間) ※映画鑑賞に参加する場合は17:00頃まで
定員	25名
会場	慶應丸の内シティキャンパス
参加費	105,000円(税・教材費込)

## 講師プロフィール

李鳳宇(りほんう)

1960年京都府生まれ。朝鮮大学外国語学部卒業後フランスに留学。帰国後、徳間ジャパンにて映画プロデューサーの道を歩み始め、1989年配給会社シネカノン設立。配給作は150本を超え、話題となる映画を次々と世に送り出す。2006年『フラガール』で日本アカデミー賞最優秀作品賞を含む5部門を獲得し、2007年映画文化の発展に功績のあった人・団体に贈られる淀川長治賞を受賞。2006年に開講した「スクリーニング・パッド/映画学部」では、映画俳優コース、映画ビジネスコース、映画脚本家コースにて学部長を務め、人材の指導・育成にも力を注いでいる。

FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項をご記入の上、FAXにて送信して下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定・諸注意を必ずお読み下さい。本申込書の受領をもって、その内容を承諾いただいたものと見なします。

### 参加者

講座名	
会社・団体名	
所属	
フリガナ	
氏名	
住所(資料送付先)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 (いずれかにチェックを入れて下さい) 〒
TEL	-
FAX	-
e-mail	

### ■キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づいてキャンセル料をお支払いいただきます。いかなる場合も、参加費のお支払いのないことをもってキャンセルとはみなしません。キャンセルの際は必ずご連絡下さい。◆開講28日前まで: キャンセル料は発生しません。◆開講27日～21日前まで: 参加費の30%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講20日～14日前まで: 参加費の50%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講13日前以内: 参加費の全額をキャンセル料としてお支払いいただきます。ただし、当方の都合で開催を中止する場合は全額返金いたします。また、お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。

### 個人情報の取扱いについて(必ずお読みください)

ご参加のお申し込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報をご提出をお願いしております。以下のサイトを確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報をご提出をお願いします。また、お申し込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。  
<http://www.keiomcc.com/keiomcc/privacy.html>  
 なお、Webを見ることができない場合、または上記に関するご質問等ございましたら、右記までお問い合わせください。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agora.net/>

### 支払方法

支払名義	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込(振込手数料をご負担下さい) <input type="checkbox"/> クレジットカード

### 割引制度(個人申込のみ)

<input type="checkbox"/> 複数申込割引 この欄に他講座を記入して下さい [ ]
<input type="checkbox"/> 継続受講割引
<input type="checkbox"/> 慶應カード割引

### ■割引制度(個人)

【複数申込割引】…一度に複数の講座へお申し込みされる場合、参加費を最大20%割引いたします。慶應MCCで開催する「知的基盤能力プログラム」や「先端・専門プログラム」との組み合わせも対象となります。(「夕学五十講」を除く。)  
 ◆20%割引: 105,000円(税込)以上の「agora」および「知的基盤能力プログラム」を複数同時に申し込んだ場合  
 ◆10%割引: 上記以外の講座・プログラムを複数同時に申し込んだ場合  
 【継続受講割引】…過去慶應MCCの講座・プログラムに参加し、終了日より1年以内にお申し込みをされた場合、参加費を10%割引いたします。(「夕学五十講」を除く。)  
 【慶應カード割引】…慶應カード会員の方が個人でお支払いいただく場合に限り、参加費を10%割引いたします。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社との提携クレジットカードです。教員・教職員および学生を対象としています。

### ■割引制度(法人)

「agora」およびビジネスプログラムへ一度に5名以上派遣される場合、合計人数に応じて参加費を割引いたします。(「夕学五十講」を除く。)詳しくは下記までお問い合わせ下さい。 ※一部適用されない場合がございます。

### 〈お問い合わせ先〉

東京都千代田区丸の内2-5-2  
 三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会 TEL:03-5220-3111  
 E-mail:info@keiomcc.com

今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきます。ご不要の方は右記にチェックをお願いします。